

議会報告会報告書

開催日時	平成25年4月27日（土） 午後2時00～3時30分	
開催場所	衣笠コミュニティセンター	
出席議員	代表者	岩沢 章夫
	司会者	杉田 惺
	報告者	小林 伸行、永井 真人、藤野 英明、田辺 昭人
	記録者	木下 憲司 山下 薫
参加人数	19 名	
報告内容	<p>[質問・回答]</p> <p>Q 年々議会報告会が充実しており、良いことと思っている。 議会（委員会）中継をよく見ているが、予算審議で分かりにくかったこととして、トライアルステイがあった。なぜ、トライアルステイ事業を、政策推進部と都市部で区別して予算計上しているのか。</p> <p>A 確かに、トライアルステイという同じ名称のため、混同しやすかったと思う。都市部のトライアルステイは、住宅ストック活用事業として、改修した空き家でトライアルステイを実施するというもので、谷戸地域の内、汐入5丁目地区をモデル地区として行うものである。 政策推進部のトライアルステイは、シティセールス推進事業として、都市イメージの向上を目指す事業である。市外居住者を対象に、市が借り上げた民間住宅にトライアルステイしてもらい、その体験を情報発信してもらうというものである。</p> <hr/> <p>Q 汐入5丁目地区のトライアルステイについて、市が住宅を借り上げるのか。また、現在実施している県立保健福祉大学生の住宅支援制度とどう違うのか。</p> <p>A 住宅ストック活用事業は、県立保健福祉大学生の住宅支援制度とはまったく違う事業である。住宅ストック活用事業としての、都市部のトライアルステイは、改修した空き家でトライアルステイを実施するというものである。</p> <p>Q 今まで聞いている市側の説明と違う。市側に苦情を申し入れたい。住宅ストック事業は予算削除されたが、県立保健福祉大学生の住宅支援制度は残るのか。</p> <p>A そのとおりである。</p> <hr/> <p>Q 自治基本条例について、なぜ市長は再提出したのか。実施したければ、市の予算を使わず、自分のポケットマネーで実施すれば良い。</p> <p>A 昨年 の定例会で否決された条例案を、何の見直しもなく、市民に対し再度説明することは不相当である等の理由により、市長提案の市民向け説明会等の事業は削除した。</p> <p>Q 自治基本条例に関し、予算を減額修正した後に残った自治推進事業とは何か。</p> <p>A 自治推進事業の事務費として145千円は承認した。</p> <p>[意見・要望等]</p> <p>Q 介護保険料について、自身で調査した結果、横須賀市の介護保険料は、年収300万円レベルで県下で一番高く、年収800万円レベルでは県下12番目である。つまり、低所得者ほど負担が大きい。このような状況を、議会は問題視して欲しい。横須賀市議会ではほとんど議論もないようで、恥ずかしい。後日資料を持参し、議員の皆さんへ説明に赴きたい。</p> <p>A ごもったもんな意見であり、重く受け止め、議員も勉強したい。</p> <hr/> <p>Q 横須賀市に対し、北朝鮮のミサイル攻撃の恫喝があった。市内・市民は危機的状況にあるのに、市長は辻立ちなどしている。</p> <p>A 市は、国民保護態勢に準じて、市民や学校に通知し、不安解消に努めた。</p>	

横須賀市議会議長 様

平成25年5月10日

上記のとおり報告します。

代表者 岩沢 章夫